

電気通信大学 平成21年度シラバス

| | | | |
|---------|---|----------|-------|
| 授業科目名 | Academic English for the Second Year II | | |
| 英文授業科目名 | Academic English for the Second Year II | | |
| 開講年度 | 2009年度 | 開講年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 後学期 | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法 | 演習 | 単位数 | 1 |
| 科目区分 | 総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I | | |
| 開講学科・専攻 | 情報工学科 量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科 | | |
| 担当教官名 | 網代 敦 | | |
| 居室 | 非常勤講師 | | |

| | |
|----------------------------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| eigokyoumu@bunka.uec.ac.jp | なし |

| |
|--|
| 【主題および達成目標】 |
| <p>(主題)</p> <p>「外国の文化と日本の文化の衝突」ということをテーマにしてJapan Timesの記事から編集された題材を読みながら、各自の思考力と発表力を養うことを目標とする。内容の的確な把握と同時に、複眼的な角度からその内容にアプローチし、主に毎時間の英語による簡単な口頭発表や、英語を数多く書くことによる意見提示を行ってもらおう。取り上げた内容を別の角度から理解するために、Japan Times以外の情報の収集・調査を各自で行い報告してもらおう予定である。また各自、言語自習室を利用して英語のリズムに慣れることを求めたい。</p> <p>(達成目標)</p> <p>(1)英語による質問を通し、正しく内容が理解できるようになること</p> <p>(2)簡単でもよいから、説得力ある意見を英語で提示できるようになること</p> <p>(3)本文中の表現を最大限に活用できるようになること</p> |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| なし |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| なし |

| |
|--|
| 【教科書等】 |
| <p>Roger Pulvers, Delighting in Cultures: A Vision of Japan 's Future (金星堂) 1900円 その他コピー教材</p> |

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

最初にテキストのCDをよく聞きながら、単語の強勢部分・切れ目などに注意を払い英文のリズムを習得する。次に、こちらで用意した20問ほどの英語の設問に答えてもらいながら本文の内容把握をパラグラフごとに行う。内容のポイントによっては、確認のため日本語で答えてもらうこともある。内容に関して、各自の意見や批評を英語で随時求めたいと思う。また本文が読み終わったあとで、本文と関係するトピックについてのコメントを短い英語のエッセイにして書いてもらうことを3回ほど予定している。さらに、本文中の英語表現を活用しながら短文を書く練習をし、表現力の向上にも努めたい。座席は指定。

以下、取り扱う題材の具体的内容をテキストの目次から記す。

- (1)The New Japanese Consciousness: A rainbow of values
- (2) Japanese Formality: On motivation and gesture
- (3)The Quiet Revolution: How is Japan evolving?
- (4) Japan is Changing: The signs are all there
- (5)The Aging Society: A chance for Japan
- (6)A Japan That Includes Everyone: The end of the insular mindset
- (7)Japan as a Multiethnic Nation: A vision of the future

なお、時間が許せば、以上の他にキング牧師とオバマ大統領の英文スピーチの暗唱を行いながら、英語のリズムに親しむ機会を随時設けることにしたい。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

事前の本文の読みと、こちらで用意した本文に関する設問プリントの予習・準備。授業と関連する事項をインターネット上の英字新聞記事にてブラウズする。言語自習室の積極的な利用。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：(1)期末の試験（英文の150語程度のエッセイを書くこと含む。テーマは事前に伝える）70%

(2)提出物・出席 30%

評価基準：最低達成基準は原則として以下の項目です

- (1)十分な予習の上で、本文の内容を把握してきたか
- (2)積極的に意見発表に参加したか
- (3)与えられた課題をきちんと提出したか
- (4)最低三分の二以上の出席をしたか

【オフィスアワー：授業相談】

火曜日、12時10分以降。講師控室にて。ただし、事前にアポイントメントを取ってください。

電気通信大学 平成21年度シラバス

| |
|--|
| 【学生へのメッセージ】 |
| 理由のない遅刻は厳禁です。30分以上の遅刻は欠席と見なします。拙くても、また間違いかなと思っても、気にせず意見表明をしてみよう。 |

| |
|--------------|
| 【その他】 |
| なし |